プログラム

昨年 50 周年を迎えた本学会は、今年度から「日本地図学会」と名称を変更しました。近年の地図を取り巻く環境変化の中で、学会には新たな時代を切り拓いていく役割が求められていると思います。東京大学柏キャンパスで行う今年度の定期大会では、森田喬新会長が学会の指針を示す会長講演を行います。また、新たに立ち上げられた「地図と地名専門部会」による地名の特別セッションとシンポジウム、高橋成雄先生による地図レイアウト設計に関する特別講演、「デジタル時代の地図表現を考える」シンポジウムなど企画も盛りだくさんとなっています。もちろん、昨年にもまして多くの口頭・ポスター発表もあります。是非とも多くの方々にご参加いただきたく、お待ちしております。

会場および会場へのアクセス

会場 東京大学柏キャンパス 総合研究棟 6階大会議室 (〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 5-1-5) 柏の葉キャンパス駅 (つくばエクスプレス) 西口より徒歩 25 分、 または、江戸川台駅 (東武野田線) 東口より徒歩 30 分



《バスを使用する場合》

- ・柏の葉キャンパス駅西口より「西柏 03 (流 山おおたかの森駅東口行き)」または「西柏 04 (江戸川台駅東口行き)」で、最寄りバス 停「国立がん研究センター」もしくは「柏の 葉公園北」まで約8分
- ・柏駅西口より「西柏 01」または「柏 44」の 国立がん研究センター行きで、「国立がん研 究センター」(終点)まで約 25 分
- ・江戸川台駅東口より「西柏 04 (柏の葉キャンパス駅西口行き)」で、「柏の葉公園北」もしくは「国立がん研究センター」まで約 6 分※東京大学柏キャンパスホームページ

(http://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/tpp40.html) もご参照ください。

※宿泊施設の情報はこちら

(http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/csisdays2012/accommodation.html)

大会参加費

普通会員・特別会員団体構成員:1,000円 学生会員:500円 非会員:2,000円 ※参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望する会員には、一冊700円(送料込)で頒布します。

※地図・図書展示のみの見学は無料です。

※懇親会費は4,000円(受付でお申し込み下さい)

学会事務局〒153-8522 東京都目黒区青葉台 4-9-6 一般財団法人日本地図センター内日本地図学会事務局電話:03-3485-5410 Fax:03-3485-5593

E-mail:gakkai@jmc.or.jp ホームページ:http://www.jmc.or.jp/gakkai/

第1日 8月1日 (木) 9時30分~17時50分

時間	題目・氏名	掲 載 ページ
	《口頭発表 1》9 時 30 分~10 時 30 分	
9:30	0-1 航海用海図の表現よりみた"東日本大震災"の港湾域への影響調査	2
	伊藤等(日本大学)	
9:45	0-2 地形図にみる集落の変容と報徳社の存続・解散に関わる対応	4
	笹本裕大(日本大学・院)	
10:00	0-3 古代蘇州の都市空間の変遷―中国の古地図と風俗画から―	6
	LU Min*・有川正俊・Fan Lixiang (東京大学)	
10:15	0-4 イタリア・カモニカ渓谷の岩絵地図の位置的コンテクスト	8
	森田 喬(法政大学)	
10:40	《特別講演》10 時 40 分~11 時 40 分	
	地図レイアウト設計のための計算モデルの構築	66
	高橋成雄(東京大学)	
11:40	《ポスター紹介》11 時 40 分~12 時 10 分	
11 10	P-1 広島県東広島市の住宅団地における住宅景観の変化	30
	杉谷真理子(広島大学・院)	
	P-2 公共空間の多機能化におけるユーザインタフェース	32
	新垣紀子(成城大学)	
	P-3 ジオパークの地図の地形表現について	34
	小荒井 衛 (国土地理院)	
	P-4 「水の惑星」の表現をめぐって	36
	羽田野正隆(北海道大学名誉教授)	
	P-5 回転楕円体に適用したサンソン図法	38
	政春尋志(国土地理院)	
	P-6 S-57 ENC から S-101 ENC へ	40
	菊池眞一*·上田秀敏 (日本水路協会)·川井孝之·村上修司 (海上保安庁海洋情報部)	
	P-7 コロケーションネットワークに基づく地図表現と位置情報サービスの可能性	42
	木實新一(東京大学)	
	P-8 質問者と回答者のインタラクションに着目したタブレット PC による定性的情報収集	44
	支援の可能性	
	笹尾知世*・木實新一・有川正俊(東京大学)・藤田秀之(電気通信大学)	
12:10	《昼休み》12 時 10 分~13 時 10 分	
12:20	評議員会(12 時 20 分~13 時 10 分) 5 階 507 会議室	
13:10	《ポスター発表コアタイム》13 時 10 分~13 時 40 分	

	《特別セッション》「地図と地名」13 時 45 分~16 時	
	第 1 セッション<地名の文化的基本機能と非常時の課題>13 時 45 分~15 時	
13:45	Ss-1 伊能図と地名	46
	星埜由尚(公益社団法人 日本測量協会)	
14:00	Ss-2 災害被災地における非常時の地名と地図の保存の課題	48
	古橋大地(東京大学)	
14:15	Ss-3 旧郡名と新旧市町村名を考察する―福島県浜通りを事例にして―	50
	齊藤忠光(マップショップ株式会社)	
14:30	<招待講演> 旧相馬藩領南部に於ける「廹」という地名の意味と表記について	52
	末永福男(元・浪江町教育委員会)	
	第2セッション<地名の国際的コンテクスト> 15 時~16 時	
15:00	Ss-4 国連の地名標準化活動について	54
	金子純一(国土地理院)	
15:15	Ss-5 海図に記載される海底地形名について	56
	松本一史・小森達雄(海上保安庁海洋情報部)	
15:30	Ss-6 住居表示システムの国際比較と類型化	58
	森田 喬(法政大学)	
15:45	Ss-7 インド自然村名辞書の構築と検索システムの開発	60
	相良 毅 (株式会社情報試作室)・高橋 昭子・水島 司 (東京大学)	
16:00	《休憩》16 時~16 時 10 分	
	《シンポジウム 1》「地図における地名表記を考える」16 時 10 分~17 時 50 分	
16:10	<趣旨説明>	
	太田 弘・齊藤忠光(地図と地名専門部会副主査)	
16:20	<基調講演>地形図・地勢図(帝国図)における地名の階層と表記	
	今尾恵介(地図と地名専門部会主査)	
16:50	<パネルディスカッション> (16:50~17:50)	
	司会:副主査 太田 弘(慶應義塾普通部)	
17:50	シンポジウム終了	
18:00	《懇親会》18 時~20 時頃	

地図・図書展示時間: 10 時~16 時 30 分

第2日 8月2日(金)9時30分~17時20分

第2日	8月2日(金)9時30分~1/時20分	T
時間	題目・氏名	掲 ポージ
	《口頭発表 2》9 時 30 分~10 時	
9:30	0-5 鉄道路線図を用いた新たな交通路の提案	10
	髙橋 悠*・津沢正晴(一般財団法人 日本地図センター)	
9:45	0-6 アナログ・デジタル地図を融合させた展示システムについて	12
	田中 圭 (一般財団法人 日本地図センター)	
	《口頭発表 3》10 時~10 時 45 分	
10:00	0-7 A Mobile Tool Enabling Analogue Maps on Mobile Devices for Walking Tours	14
	Lu Min*・有川正俊(東京大学)	
10:15	0-8 地図を用いたルート型ジオタグオーディオのモバイル制作・鑑賞環境の実現と検証	16
	鶴岡謙一*・有川正俊(東京大学)	
10:30	0-9 辞書地図とストーリーマッピング	18
	有川正俊(東京大学)	
	《口頭発表 4》10 時 45 分~11 時 15 分	
10:45	0-10 新潟県柏崎市におけるハザードマップの地図表現と読図の実態に関する研究	20
	山岸良太(上越教育大・院)	
11:00	0-11 参加型地図としてみた日本の子育てマップの現状と課題	22
	若林芳樹*(首都大学東京),久木元美琴(奈良女子大学)	
	《口頭発表 5》11 時 15 分~12 時	
11:15	0-12 地理教育の視点からみた地図アニメーション	24
	小林岳人 (千葉県立松戸国際高等学校)	
11:30	0-13 セネガル国中学校での地図啓発活動の試み	26
	丸山弘通 (一般社団法人 国際建設技術協会)	
11:45	0-14 明治9年 陸軍士官学校教科書 寓里越氏著『測地簡法』と屈列多曼氏編輯『地理圖	28
	學教程講本』	
	細井將右	
12:00	《昼休み》12 時~13 時	
	《会長講演》 13 時~14 時	
13:00	地図学会の地図 ーその拡がりと流れ、そして新たな発想-	
	森田 喬(法政大学)	
14:00	《休憩》《表彰式》14 時~14 時 20 分	

地図·図書展示時間: 10 時~15 時

17:20 シンポジウム終了

本地図センター)・片岡義明 (ライター)